

# 平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目	03	観光費	

事業名	<b>観光資源ネットワーク化事業</b>	事業開始年度	平成 年度
	観光振興基本計画策定	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内外からの観光客 市民	○本市に世界遺産「宮島」を中心として多くの人が訪れるようになる ○戦略的かつ効果的な観光政策を体系的に推進することで地域の活性化や雇用の拡大など地域への波及効果が生じる

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	観光関係団体 市民	○本市の観光政策に関する情報収集、現状把握、分析 ○策定のための会議等の設置と運営 ○基本計画策定とその計画を推進する体制の構築

### 3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	○廿日市市観光振興基本計画策定業務 本市の観光振興における基本方針を策定し、進むべき方向を示した上で、戦略的かつ体系的に施策を推進することにより、地域の活性化や雇用の拡大、ブランド力向上による産業誘致や居住地としての価値向上、地域文化や自然環境等の維持向上を目指す。なお、策定期間は平成25年度から平成26年度の二か年。 【歳出】 会議報償費(学識) @7,000×2h×2人×3回 84 千円 費用弁償(学識・県内) @600×1人×3回 2 千円 費用弁償(学識・県外) @31,440×1人×3回 95 千円 特別旅費(県外) @20,540×1人×3回 62 千円 廿日市市観光振興基本計画策定業務委託料 2,607 千円 本編500部、概要版5,000部						
	コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算		
直接事業費 A			3,137,000	2,850,000			
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)					
市(市税など)			3,137,000	2,850,000			
人件費(按分) B	人	0.90 人	0.90 人				
総事業費(A+B)		11,013,800	10,509,900				
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人			
	② 市民1人当たり		93	89			
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24 実績値	H25 目標値	H26 目標値	H27 目標値	備考
	活動	会議開催	回		3	3	
	成果	市の総観光客数	万人	729	700	700	700